

◆三石会場◆

議会報告会・意見交換会における主な意見等

令和2年2月13日（木）開催

意見交換会テーマ：「介護サービス事業及び病院事業の今後について」

- 施設が分散されており、人件費が高止まりしていることが赤字の一因なのではないか。
給料を低くすることは無理かもしれないが、凍結することはできると思う。それぐらいのことをしなければ赤字はなかなか解消されない。
赤字だけやっていかなければならない理由というものもあると思う。
- 指定管理者制度を導入した場合、収支バランスはよくなるかもしれないが、サービスが低下するようなことが生じた時にだれが責任をとるのか。
現在働いている人たちの待遇が悪くなる可能性も考えられるのではないか。
- 静内の赤字のために三石の入院病棟を減らすということは三石地区の住民にとって当然理解できないこと。
- ますます少子高齢化が進んでいく中で、家族が入院したら毎日行ってみたいというのは親族として当然の心情だと思うが、三石国保病院の病床がなくなると、歩いて行けないという不便が生じてくる。それらを踏まえて三石国保病院の病床は残すべき。
- 静内の医療機関関係で協議会のようなものを構築して、入院できない民間の医療機関から入院患者を紹介してもらうなど、町立病院の入院患者を増やす方法を考えることはできないか。
- 三石地区で開催されたまちづくり懇談会の各会場で、三石国保病院の無床化については、やめてほしい、病床は最低でも確保してほしいとの意見があった。
病院と病床は表裏一体のものであって、それが安心感を生み医療への信頼を生むというのは一般的な考えであると思う。
もし町が、やはりこの方針で行くしかないと言った時に、議会としては三石国保病院の無床化もやむなしと考えるのか、それとも命の重さに差はないということと時間的なものや家族の苦労などを勘案した場合に最低であっても病床は残すべきと考えるのか、議会としてどうすべきかということをおおきく決めておくことは可能ではないか。そういう検討をお願いしたい。
- 診療報酬がどんどん下げられていることで病院が赤字になってきているので、町の経営が悪いなどという問題ではないと思う。もっと上に対して福祉を守れ、国民の命を守れと声をあげていくのが議員だと思う。
- 現在、介護施設で働いている人たちの心配事を取り除いていくのも議員の仕事だと思う。
- 三石地区ではまちづくり懇談会が自治会単位で4カ所か5カ所でやっていると思うが、その全部の自治会が病院の方針に反対している。このまま通ってしまうと三石と静内のわだかまりができるのではないか。わだかまりをつくらぬような政策の方向にもって行ってほしい。
- 急に赤字になったのか。合併してから13年経つが、その間、何をしていたのか。

- 地元ですぐ診てもらえる病院があるということは、私たちの命の拠り所である。今、いろんな問題をさらけ出して、今後どういう町をつくっていきたいのかというのを考える時期だと思う。新ひだか町にある病院、介護施設などをどうしていくのかということをもっと真剣に考えていかなければならないと思う。
- 基本的に三石国保病院は今の状態を保ってほしいと思っているが、診療所にしていくことになった場合には、夜間の診療や休日の診療など、現在やっている診療をそのまま継続してほしい。

－その他－

- 議員はどんな考えをしているのか。議員の考え、議会に訴える力、議会が町に訴える力が見えない。我々が言った意見を議会で反映させてもらいたい。
- 今、コロナウイルスの蔓延が地方都市や田舎にも出てくるのではないかという懸念がある。このような問題が出たら、議員もすぐに動いて自分たちの考えをまとめて、地域差がでないような考え方をもちて意思統一を図り町と掛け合えば無駄な時間をかけなくて済むし、より効果的な運営ができるのではないか。より能動的でアクティブな、一歩踏み込んだ議会を運営してほしい。